

# 悩んでいる人を救いたい

## 自殺予防ゲートキーパー養成講座



健康づくり推進員の皆さんも講座を受講

す。れていま  
象に行わ  
進員を対  
づくり推  
町の健康  
28日にも  
は、7月  
同講座  
びました。  
対応を学  
びました。  
必要を支  
援につな  
げていく  
対応を学  
びました。  
は、7月  
同講座  
びました。  
必要を支  
援につな  
げていく  
対応を学  
びました。



悩んでいる方への声かけを実践する受講者の皆さん

健師が自殺に結びつく病気や本町の  
現状について説明したほか、参加者  
による役割練習も実施。悩んでいる

町主催の自殺予防  
ゲートキーパー研修  
会が9月3日、町公民  
館で開催されました。  
自殺予防ゲートキー  
パーとは、悩んでい  
る人に気づき、声をか  
け、話を聞いて、必要  
な支援につなげる「見  
守る人」のことです。地  
域の皆さんに、この  
「見守る人」になってい  
ただきたいと開催さ  
れました。

研修会では、町の保

# みこしの声 威勢よく

## 弟子屈神社例大祭 川湯神社例大祭

子どもみこしも元気にパレード

たくさんの観客の前で  
鎧獅子舞を披露(上)  
活気あふれる弟子屈神社みこし(右)



勇ましい川湯神社みこし(右)  
川湯保育園児も元気よく(下)



祭りを盛り上げた川湯ばやし

から盛んに声援が送られていました。  
児童が熱戦を展開。訪れた保護者など  
から盛んに声援が送られていました。  
29日には、川湯神社境内で奉納相  
撲大会が行われ、川湯の保育園児・児  
童が熱戦を展開。訪れた保護者など  
から盛んに声援が送られていました。

8月27日から29日には、川湯神社  
例大祭が行われました。  
28日に行われたみこし行列では、  
本みこしや子どもみこしが威勢のよ  
い掛け声とともに練り歩きました。

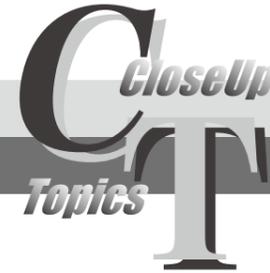
弟子屈神社例大祭が、8月19日  
から21日にかけて行われました。  
20日に行われたパレードには、  
本みこしや弟子屈小学校の児童  
による子どもみこし、鎧獅子  
舞、バントワラー弟子屈教室、  
北響太鼓などが参加し、町内を練  
り歩きました。途中、数カ所で行  
われたパトロンや獅子舞、太鼓の披  
露には、訪れた観客からたくさん  
の拍手が送られていました。

## 町の話



## 町の話

## 町の話



## 町の話

# マチの将来ビジョンを議論

## てしかが まち・ひと・しごと創生 てしかが創生委員会



さまざまな意見が出された創生委員会

第4回委員会は11月  
13日(金) 10時30分から、  
摩周観光文化センター  
で行われます。委員会は  
公開制で行われていま  
すので、皆さんも聴きに  
来ませんか。詳しい日程  
は、広報てしかが11月号  
でお知らせします。

第2回委員会は、町が  
今年度中の策定を目  
指す弟子屈版総合戦  
略「てしかがまち・ひ  
と・しごと創生戦略」  
にかかる町長の諮問機関で、8月に  
設立。町民の皆さんや外部有識者の  
方など、20人で構成されています。

同委員会は、町が  
今年度中の策定を目  
指す弟子屈版総合戦  
略「てしかがまち・ひ  
と・しごと創生戦略」  
にかかる町長の諮問機関で、8月に  
設立。町民の皆さんや外部有識者の  
方など、20人で構成されています。



てしかがまち・ひと・しごと創生  
「第2回 てしかが」

# 地域が目指す将来像描いて

## 南弟子屈地域活性化協議会 第3回・第4回WG会議



自分の足で探した弟子屈の魅力を発表する和歌山大学の学生

第2回WG会議は9月15日、旧昭  
栄小学校で行われました。参加者  
によるワークショップのほか、地域資  
源発掘調査のため本町を訪れていた  
和歌山大学観光学部の学生9人が、  
自分たちで見つけた本町の魅力につ  
いて発表を行いました。  
(3ページ「協力隊通信」参照)

初めに、同協議会の事務局を務める  
地域おこし協力隊の炭田晃希さんを  
中心に、前回のワーキンググループの  
振り返りを行いました。次に、会議の  
ルールについて確認。その後、参加者  
は、地域の現状を把握するため、現在  
困っていることや今後心配なこと、こ  
れから守りたいもの、育てたいものを  
書き出しました。不安面では、少子高  
齢化に伴う介護・福祉の問題や空き  
家の増加などが、守りたいものには  
豊かな自然や伝統芸能などが挙げら  
れ、今後は地域の誇りやにぎわいを  
育てたいなどの声が聞かれました。  
第4回WG会議は9月15日、旧昭  
栄小学校で行われました。参加者  
によるワークショップのほか、地域資  
源発掘調査のため本町を訪れていた  
和歌山大学観光学部の学生9人が、  
自分たちで見つけた本町の魅力につ  
いて発表を行いました。



地域の課題や展望について意見を交換

# 長寿祝い長年の貢献に感謝

町内各地で敬老会



徳永町長から祝い品が(弟子屈市街地区)



祝い品を受け取る皆さん(老人ホーム)

9月21日の敬老の日にちなみ、長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。

9月11日には、養護老人ホーム俣和園と特別養護老人ホーム摩周の合同敬老会が俣和園で行われました。会では、徳永町長のあいさつ、八幡町議会議員のお祝いの言葉に続いて、米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎えた方に祝い品が贈られました。

9月19日には、弟子屈町睦会(金子ひで子会長)主催の「第67回弟子屈市街地区敬老会」が福祉センターで行われ、約300人が出席しました。会では、徳永町長のあいさつに続き、八幡町議会議員からお祝いの言葉が贈られました。また、古希(70歳)、喜寿(77歳)、米寿、白寿を迎えた方に祝い品が贈呈されたほか、さまざまなアトラクションも披露されました。



子どもたちの演技に見入る(屈斜路自治会)

同日、屈斜路自治会(金澤賢二会長)でも敬老会が行われました。屈斜路研修センターで行われた敬老会では、古希、喜寿、米寿を迎えた方に祝い品を贈呈。アトラクションでは、和琴小学校(鳴海厚校長)児童による「和つ子ソーラン」などが披露され、出席した皆さんが楽しみました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月1日

## 外来種と地域の自然について理解を深めてくっしやる講座でウチダザリガニを駆除

ウチダザリガニを探す参加者



チームくっしやる(斎藤敬子代表)主催のくっしやる講座第3回「外来種が教えてくれること」が8月1日、和琴半島周辺で行われました。

チームくっしやるは4月設立の地域活動団体で、地域の文化や自然などに理解を深めてほしいと、定期的に講座を開催しています。今回は、町内の外来種の現状を知ってほしいと開催されたもの。初めに、環境省川湯自然保護官事務所の申田卓弥自然保護官から、町内の外来種についての説明がありました。その後、参加者は屈斜路湖でウチダザリガニの捕獲に挑戦。自然保護への思いを新たにしました。

8月19日

## 町中をアートでいっぱい 摩周ハイヤーに「動く壁画」が完成

幅10メートルほどの巨大な壁画



朝日1丁目の(有)摩周ハイヤー(村岡幸雄代表取締役)社屋の壁面に8月19日、アーティスト野田智之さんの作品「動く壁画」が設置されました。

てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会(行木衆児部会長)の「てしかが劇的Artばら計画」の一環で設置されたもの。町中に芸術作品を配置しようという事業で、同社が計画に賛同し、依頼していました。野田さんは、動きのある作品を得意とする芸術家。同社の動く壁画も、夜間にはライトアップされ、作品が動きます。皆さんも一度、ご覧になってみませんか。また、制作の様子は<https://youtu.be/82UimA5SS5Q>からご覧いただけます。

8月17日

## 特殊詐欺と飲酒運転撲滅をはがきで呼びかけ 弟子屈郵便局でかもめーる配達出発式

はがきを受け取って出発



振り込め詐欺などの特殊詐欺と飲酒運転の撲滅を呼びかける暑中・残暑見舞いはがき「かもめーる」の配達出発式が8月17日、弟子屈郵便局(藤原将男局長)で行われました。

特殊詐欺への警戒、飲酒運転防止を啓発するメッセージが書かれたはがきを町内全戸に配布する取り組み。弟子屈防犯協会(田中富士男会長)や弟子屈警察官友の会(高田中会長)、弟子屈町商工会など20の団体や企業が賛同しました。

出発式には立山登弟子屈警察署長や桐木茂雄弟子屈町商工会会長など約20人が出席。はがきは8月17~19日の3日間で町内各家庭に配達されました。

8月29日

## 地域の役に立ちたい 今井林業が美留和小学校の環境整備

重機を使って丁寧に作業



今井林業(株)(西村良雄代表取締役)の皆さんが8月29日、美留和小学校の環境整備を行いました。

子どもたちの喜ぶ顔が見たいと、社会貢献活動の一環として行ったもので、社員6人が参加。作業用機械を使って、建物に隣接する大木の伐採や高枝払いの作業を丁寧にを行いました。

8月24日

## 郵政事業に多大な貢献 「絵手紙摩周湖」「野の花押し花サークル」に感謝状

受賞者の皆さん



郵政事業に長年貢献したとして、絵手紙摩周湖(高橋加代子代表)の皆さんに日本郵便北海道支社長感謝状が、野の花押し花サークル(中川玲子代表)の皆さんに弟子屈郵便局長感謝状が贈られました。今年度の支社長感謝状は2団体1個人のみを受賞。贈呈式は8月24日、弟子屈郵便局で行われ、藤原将男局長から感謝状と記念品が手渡されました。

絵手紙摩周湖は2001年から同局や道の駅摩周温泉などで作品展を開催しているほか、町公民館講座の講師も務めています。野の花押し花サークルも2008年から同局で作品展を開催しており、両団体とも手紙文化の普及に貢献したとして今回の受賞となりました。

## 町の話題



## 町の話題

## ぼくらが考えるまちの活性化

弟子屈高校生による議会発表・町政提言



自分たちが考えた政策を提言する生徒たち

弟子屈高校(木村浩士校長)の3年生による議会発表・町政提言が9月16日、役場で行われました。同校では、総合的な学習の時間で地域探究に取り組んでいます。今回の発表は、3年間の研究の集大成という位置づけ。ふるさと弟子屈の現状を把握し、まちを発展させるための方策を考えてきた生徒たちが、地域課題研究と観光振興の2つのテーマで、徳永町長や小林教育長、八幡町議会議員などを前に発表を行いました。

地域課題研究をテーマとした2つのグループは、本町の人口増加を目指した政策を提言。豊かな温泉を利用したテーマパークの建設や、観光学部・環境学部を備えた大学の設立を提案しました。

観光振興策については、同校が毎年取り組む「全国高校生観光プランコンテスト」提出プランの中から、2つを紹介。都会の親子連れをターゲットにしたプラン、アイヌ文化に触れるプランが提案されました。



生徒会長の川本さん(右)から徳永町長に提言書が

**9月6日**  
日頃の訓練の成果を披露  
弟子屈・川湯消防団の秋季合同演習

消防技能競技大会で訓練成果を発揮



平成27年度弟子屈・川湯消防秋季合同演習が9月6日、摩周観光文化センター前と町営スケートリンク場で行われました。

消防団員の技術向上と地域の防火意識高揚のため毎年行われているもので、消防職員や消防団員、関係者など約150人と消防車両が参加。観閲式や分列行進、消防技能競技会などを行い、日頃の訓練の成果を披露しました。参加者は演習を通して、防火意識を新たにしていました。

**9月5日**  
いざというときに備えて  
救急フェアで応急手当などを学ぶ

心肺蘇生法などを学ぶ参加者



弟子屈消防署主催の救急フェア2015 in 摩周が9月5日、道の駅摩周温泉で開催されました。

9月9日の「救急の日」を前に、いざというときの応急処置を学んでもらおうと開催されたもの。参加した方は、心肺蘇生法のほかAED(自動体外式除細動器)の使い方や骨折処置などを学び、救急時への備えを再確認していました。また、救急車内の見学や非常食の試食も行われました。

**9月11日**  
オーケストラに酔いしれる  
札幌交響楽団による摩周湖ブルーコンサート

町内外から600人が会場に



札幌交響楽団弟子屈公演「摩周湖ブルーコンサート」(同実行委員会・北海道新聞社主催)

が9月11日、摩周観光文化センターで行われました。同センターの開館30周年を記念して開催されたもの。札幌の弟子屈公演は5年ぶりです。指揮者は藤岡幸夫さん。ブラームスのハンガリー舞曲や、オフエンバックの天国と地獄など、よく知られた曲を中心に演奏され、詰めかけたクラシックファンを魅了しました。

**9月9日**  
楽しみながら科学の不思議に触れる  
奥春別小学校で移動理科教室

スライムをストローで膨らます児童



道立教育研究所附属理科教育センター主催の移動理科教室が9月9日、奥春別小学校(中村涼子校長)で行われました。

同センターが道内各地を回って開催しているもので、研修主事の成田一之慎さん、佐藤大さん、秋里泰紀さんが講師として来校。美留和・和琴両小学校の児童も同校に集まり、合同で授業を受けました。児童は、低・中・高学年の3グループに分かれて、膨らむスライム作りやアンモナイトの複製品作り、化石探しなどに挑戦。一味違う理科授業を楽しみました。

**9月15日**  
おいしいおそばを楽しく  
レストラン摩周が老人ホーム入所者を招待

手打ちの新そばを楽しむ皆さん



摩周観光文化センター内でレストラン摩周を運営する和田義光さんが9月15日、養護老人ホーム偉和園と特別養護老人ホーム摩周の入所者を招待し、約100人に摩周そばを振る舞いました。

敬老の日を前に感謝の意を込めて行ったもので、今年で3回目です。同店のそばは、ちょうど新そばに変わったばかり。楽しみにしていた皆さんは「おいしい」と、うれしそうにそばをすすっていました。

**9月13日**  
森とふれあい人とふれあう  
原野のりの木育ひろば

森のひろばで遊ぶ子どもたち



てしかが自然学校(萩原寛暢代表)主催の「原野のりの木育ひろば」が9月13日、弟子屈原野で行われました。

道認定木育マイスターで自然体験活動などのコーディネーターを行う萩原さんが、自然とのふれあいと参加者同士の交流の場として企画したもので、町内の親子など24人が参加。地場産ジャガイモでの焼きイモや、たき火を使った焼きマシュマロを味わったり、ササ刈りをしたカラマツ林内のひろばで木や森とのふれあいを楽しんだりしました。

**8月29・30日**  
打ちたての新そばに舌鼓  
たぶん日本で一番早い新そば祭り

そば店の前に出来た行列



J A 摩周湖(川口覚組合長)と摩周そば生産組合(猪狩広昭組合長)が主催する「第9回 J A 摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り」が8月29・30の両日、J A 摩周湖前で開催され、町内外から訪れた多くの方でにぎわいました。

会場では「摩周そば生産組合」「札幌愛好会」「達磨グループ」が、弟子屈産のそば粉を使った、打ちたて、ゆでたての新そばを提供し、新そばを求める方で長蛇の列が。また、農産物即売や多彩なイベントのほか、本町の姉妹都市・鹿児島県日置市の黒毛和牛を販売する和牛祭りも行われました。

**9月1日～**  
力作を見に来ませんか  
道の駅摩周温泉で企画展

さまざまな展示を見に来ませんか



9月から道の駅摩周温泉の展示内容が変わりました。1階イベントコーナーでは、小原恵子さんのフェルトの壁掛けを展示。1階ギャラリーでは高橋米子さんとフォト仲間の皆さんによる道東の風景と野生動物の写真展が、2階では香月さんによる水墨画展「命の鼓動」がそれぞれ行われています。10月31日(土)まで開催されていますので、一度ご覧になってみませんか。

**9月5日**  
たくさん子どもたちでにぎわう  
子どもフェスティバルを開催

趣向を凝らした遊びコーナー



第12回子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月5日、町公民館で開催され、多くの子どもたちが訪れました。

今年は、釧路教育大学生による「滑車の力」と題した科学遊びや弟子屈高校ジュニアリーダーによる「バットボトルボウリング」、てしかが自然学校による「たきび広場」でのマシュマロ焼きなどが行われました。天候にも恵まれ、会場には多くの親子連れなどが集まり大盛況。また、3歳児健診でむし歯のなかったお子さんの表彰式も行われました。

**カメラスケッチ**  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**8月30日**  
町内で最後の開催  
おひさま保育園の運動会

お母さんと一緒にうれいね



おひさま保育園(元山久美子園長)の運動会が8月30日、同園グラウンドで開催されました。今年度の町内の運動会では、同園が最後の開催です。

好天にも恵まれ、園児は元気いっぱい。かけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯など練習の成果を披露し、保護者などから大きな声援が送られました。

**9月3日**  
楽しみながら火の用心  
防火パークゴルフ大会で熱い戦い

楽しみながら防火意識高めて



防火パークゴルフ大会(同実行委員会主催)が9月3日、川湯パークゴルフ場で開催され、41人が、熱い戦いを繰り広げました。

川湯防火管理協議会と弟子屈消防署川湯支署でつくる実行委員会の主催で、同協議会の活動周知と防火意識の向上を目的に毎年開催されています。消火器やAEDの使い方についての説明では、多くの質問が上がるなど、意欲的な様子が見られました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)  
▶男子/優勝・三浦裕司、準優勝・横田憲治、3位・酒井保  
▶女子/優勝・乙戸良子、準優勝・二日市郁子、3位・加藤文江  
▶ホールインワン賞/加藤文江